



平成27年度 女性研究者支援コンソーシアムあきた男女共同参画推進シンポジウム 「女性研究者支援からダイバーシティへー多様な支援の在り方と共助ー」を開催しました

平成27年10月29日（木）13時30分より秋田ビューホテルにおいて、「平成27年度女性研究者支援コンソーシアムあきた男女共同参画推進シンポジウム」を開催しました。

澤田賢一秋田大学長の開会挨拶に続き、第1部は、科学技術振興機構より科学技術プログラム推進部プログラム主管 山村康子氏を講師に迎え、「女性研究者支援事業の実績と今後の動向」と題し、日本における女性研究者の現状や他大学の女性研究者支援の取組事例と成果、女性研究者支援における今後の動向などについてお話いただきました。



基調講演講師の山村康子氏

第2部では、昨年度に引き続き「女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」の第2回表彰式を行い、優れた研究成果を挙げた2名の女性研究者が表彰され、授賞者講演を行いました。

その後、「女性研究者支援からダイバーシティへー多様な支援の在り方と共助ー」と題して、秋田大学 澤田賢一学長、秋田県立大学 小林淳一理事兼副学長、秋田県産業技術センター 鎌田悟所長をパネリストに、秋田大学渡部育子学長補佐のコーディネートでパネルディスカッションを実施し、各機関の女性研究者支援の取組や今後の課題、要望について活発な意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子

【女性研究者支援コンソーシアムあきた賞 授賞者】

・若手研究者部門

秋田県立大学生物資源科学部 助教 曾根 千晴 氏
研究テーマ

「アフリカでイネの生育を改善させるには？
ー不良環境条件に対する生理反応の解明からー」



・ワーク・ライフ・バランス部門

秋田大学医学部附属病院 小児外科・助教 森井 真也子 氏
研究テーマ

- ① 「肝内胆汁鬱滞に対する新たな治療アプローチの開発
ーヤツメウナギにおける胆道閉鎖ー」
- ② 「腸管不全合併肝機能障害にたいするω3系脂肪製剤の有効性」



秋田大学医理工連携コース コラボ企画

「女性大学院生・学部生のための キャリア・パス講演会」を開催しました

平成27年8月21日（金）16時20分より本学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーにおいて、「女性大学院生・学部生のためのキャリア・パス講演会」を開催しました。

当日は、秋田県総合食品研究センター醸造試験場 酒類グループ研究員の佐藤雅氏を講師に迎え、「理系として経験してきたこと」と題して講演会を行いました。

講演では、大学での研究内容の紹介や一般企業への就職を経て現職に就いた経緯、これまでの経験を通して感じたことや、現在研究されている日本酒のことについても詳しくお話いただきました。

今回の講演を聴いて日本酒の研究に関心を持った学生もあり、質疑応答では理系の女性が企業でずっと働くことについての質問が出るなど、参加者は講演内容に大変興味を持った様子でした。

また、講演後に行った交流会では、講演の中で聞くことができなかった話題など気軽な雰囲気でお話をしている様子が見られ、大変有意義な会となりました。



講演の様子



交流会の様子

「女性研究者介護支援セミナー ～どうする？私と介護～」を開催しました

平成27年9月15日（火）13時30分より本学医学系研究棟において、「女性研究者介護支援セミナー～どうする？私と介護～」を開催しました。

当日は、社団法人日本社会福祉士会 権利擁護センター ぱあとなあ秋田運営副委員長の伊藤幹子氏を講師に迎え、「介護に備えて」と題し、成年後見制度を利用した方の事例を基にご講演いただきました。

また、講演後には「どうする？私と介護」と題したワークショップを行い、参加者はグループに分かれ、講演の感想や自身の介護体験、将来介護についてどう関わっていききたいか等をお話しました。

アンケートでは「成年後見制度について詳しく知ることができて良かった。」「参加したみなさんの介護に関わるケースもいろいろ聞いて、近い将来に漠然と不安を抱えながらみんな仕事をしている事を実感した。」などの感想が寄せられました。



講演の様子



ワークショップの様子



第5回出張ミニセミナー (会場：秋田県産業技術センター) を開催しました

平成27年9月1日(火) 14時30分より女性研究者支援コンソーシアムあきた参画機関である秋田県産業技術センターにおいて、「第5回出張ミニセミナー 医理工連携意見交換会」を開催しました。

当日は、秋田大学医学部附属病院 医員の寺田かおり氏と秋田県産業技術センター電子光応用開発部 部長の小笠原雄二氏を講師に迎え話題提供していただいた後、意見交換会を行いました。

始めに、寺田氏から「医理工連携で学んでいること」と題して、研究内容の紹介や研究における医理工との関わりについてお話いただき、続いて小笠原氏から「医理工連携の取り組み例のご紹介」と題し、これまで医理工連携で取り組んできたことや共同開発した商品について紹介していただきました。

講演後には質疑応答を交えた交流会があり、医療機関と研究機関のニーズやそれぞれの今後の研究開発に繋がる話題が出るなど、大変活発な意見交換が行われました。

終了後のアンケートでは「これから研究に携わろうとしている段階でしたが、こんなに素晴らしい医理工連携をしているとは知りませんでした。自分も研究をするにあたり、医理工連携により、よい研究ができれば良いと感じました。」「医のニーズを聞く機会が限られているので大変有意義な会でした。」等の声が寄せられました。



話題提供の様子



交流会の様子

「平成27年度 第2回コロコニトーキング ～自分らしく働くためには～」を開催しました

平成27年9月25日(金) 16時より本学学生支援棟において、「平成27年度 第2回コロコニトーキング～自分らしく働くためには～」を開催しました。

当日は、秋田大学国際交流センター助教の佐々木良造先生より話題提供があり、ご自身の育児休業中の経験をもとに制度の利用に至った経緯や感想、制度を利用する際のポイントや注意点等についてお話いただきました。

その後の意見交換の時間では、佐々木先生へ育児に関することや休業中の仕事の対応、研究面等多くのことについて質問があり、意見が交わされました。

終了後のアンケートでは、「男性かつ教員の育休という貴重なお話が聞けてためになった。」「事例をもとに具体的で分かりやすかった。」等の声が寄せられました。



話題提供の様子



意見交換の様子

『第2回スキルアップセミナー2015』を開催しました

平成27年11月9日（月）15時30分より本学医学系研究棟において、「第2回スキルアップセミナー2015」を開催しました。

当日は、帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座准教授の野村恭子先生を講師に迎え、「疫学研究を学ぶ：ガラスの天井と女性医師の就労形態を題材にして」と題して講演会を行いました。

講演では、女性医師の就労形態を題材に、男女の機会格差は存在するののかという仮説を疫学研究、統計学的処理方法を用いて検証し、対策（結論）までを解説していただきました。

終了後のアンケートでは「大学院の統計の授業の復習になった。」「男女の就労に関する実際の例を知ることができてよかった。」「とてもよかったので疫学・統計についてのセミナーは定期的で開催して欲しい。」等の感想が寄せられました。



講演の様子

今後開催予定のイベント情報

平成27年度 秋田大学男女共同参画推進フォーラム

日時：平成27年12月22日（火） 16:00～17:00

場所：秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー2階 大セミナー室

対象：秋田大学教職員

プログラム：

16:00 開会挨拶 学長 澤田 賢一

16:05 報告

「秋田大学教職員の男女共同参画推進に関する意識調査集計及び分析結果について」

16:45 質疑応答

16:55 閉会挨拶 理事・総括副学長 小川 信明

17:00 閉会



今年度9月にご協力いただいた「秋田大学教職員の男女共同参画推進に関する意識調査」の集計及び分析結果についてのご報告をするとともに、今後より一層働きやすい職場環境づくりをしていくための方策について、みなさんと一緒に考えていきます。

